

第4回大町ダム等再編事業 事業監理委員会審議結果

1. 日 時：令和5年7月31日（月） 13：30～14：30

2. 場 所：大町ダム管理所 3階 会議室

3. 審議結果：

（1）大町ダム等再編事業の概要

- 工事行程について、トンネル工事の施工が遅れているのと説明があったが、令和11年度までに運用開始できるのか。
⇒トンネル工事の着手を1年延期することとなったが、工事は予定通り令和11年度までには完了する見込みである。
- 水道容量を治水容量に振替えることは、今の時代に合っており大変良いと思う。再編事業後の水道容量がまだ113万m³あるが、どこが所有しているか。
⇒長野市が所有している。

（2）事業の実施状況について

- トンネル工事の契約は今年度の第4四半期ということだが、是非とも年度内には契約を行ってほしい。（意見）
- 物価対策の話もあったが、今、物価が上がっていることは事実なので、正々堂々と予算要求して、しっかり予算を確保してほしい。（意見）
- 用地の取得状況について、現時点で進捗6%ということだが、籠川以外に必要な用地がまだあるのか。
⇒事業として必要な用地は全体で37haであり、うち不動沢が7ha、籠川が30ha。籠川については、3haはストックヤードとして、残りの27haは土砂対策として不動沢から搬出する土砂を仮置きする土地（ヤード）として計上している。
- トンネル工事は通年施工できるのか。異常な豪雪で工事が遅れる可能性はあまりないと考えて良いか。
⇒トンネル工事であるため通年施工はできる。現時点で雪の影響はないと見込んでいる。
- 施工箇所近郊で猛禽類が繁殖した場合の影響は。
⇒有識者とも相談しながら調査を進めているが、施工箇所近郊で猛禽類が繁殖した場合は、繁殖期には大きな音が出る工種などは避けるなどの対応が必要と考えている。猛禽類が繁殖した場合の事業計画（工事行程）を含め、有識者とも相談のうえ、調整しながら進めていきたい。

- 無線 LAN 配置計画の考え方は。ずいぶん遠くに飛ばして（距離が離れている）いるのは山があるからか。
⇒電波は直線で見通しの良い所しか飛ばない。当該地は山間部であるため大町ダム～七倉ダム～高瀬ダム間については見通しが悪いことから、電波経路は最短距離でルート設定するのではなく、中継機器設置などのコストを考慮してルートを選定した。

- 現在、不動沢において土砂流入状況をどのように把握しているのか。監視カメラなどはあるのか。
⇒常時での観測は行われていないが、出水等により土砂流入があった場合は、写真撮影や測量などが実施されている。また、不動沢の吊り橋付近に監視カメラがあり、出水時にはそのカメラで監視を行っているが、常時監視（録画）をしているものではない。

- 尋常でない豪雨が降ったりするので、今まで考えていなかった以上の土砂が来ることも想定し、もしもの時の監視体制などを考慮しておいた方がよい（意見）